

# サンビオティック農業通信

<http://www.sunbiotic.com>

## ● 実りの秋に大豊作！サンビオ米(水稻) 160%の大増収を記録！！



水稻で驚くような試験結果が報告されました。西海市西海町で、水稻のサンビオティック栽培を行ったところ、160%を超える大幅な増収を達成したとの事です。

試験区では、田植え後にリン酸・カルシウム有機肥料「鈴成」を10袋/反、菌力アップを20L/反、施用しました。施用後から、葉色の鮮やかさ、葉の硬さが違うなあ、と思って見ていましたが、再度調査した9月初旬の時点で差は明らかに見られました。

茎数(分けつ数)が、未処理区と比べ2倍も多い40本、葉が硬いため害虫の被害がほとんどないことなど明らかな違いでした。下のデータをご覧ください。未処理区は、比較のため全くの無肥料栽培でしたので、一般値と比べるとやや劣りますが、一般と比べても歴然の差です！！さあ、今から来年の作付けが楽しみにになりますね。

	玄米収穫高/反	茎数(平均)	農薬散布
試験区(サンビオ)	680kg	40本	2回
対象区	420kg	20本	4回
一般	480kg	25本	4~6回

植付けは7月1日  
品種：ひのひかり  
他の肥料は使用していない



(サンビオ実施区)



(対象：未処理区)

これだけ違うと、田んぼの景色もかなり違います！



### < 来年のお勧めサンビオ施肥基準 >

元肥 : 鈴成 10袋/反  
田植え前 : 菌力アップ 20L/反  
中干し後 : 菌力アップ 20L/反

菌力アップは入水時に水口から流す  
コストを抑える場合は、中干し後の  
菌力アップを省く。

## ● デコポンの早出しに期待大！減酸試験は早くも驚くような途中経過。

現在鹿児島で、日本でも例のない、デコポンを早出しするための減酸試験を行っていますが、早くも試験の途中報告が上がってきました。結果は想像以上の傾向が出ています。これが成功すると、糖度アップと減酸のタイミングを、肥料である程度コントロールできるようになります。そのため、有利な相場でも早出しすることもでき、デコポンをはじめ晩柑類に画期的な栽培技術となります。

詳細な栽培内容、施肥基準等をお知りになりたい方は、弊社担当者へお問い合わせください。



### (試験途中報告)

	9/10糖度	10/10糖度	9/10酸度	10/10酸度
サンビオティック試験区	8.5度	9.7度	2.23	1.40
対象区(同圃場)	8.3度	8.7度	2.80	2.15
一般(平均)	8.5度	8.6度	2.87	1.71

## ● みかんの玉太り、着色促進に「鈴成」効果抜群！！



西海市エイビーエス農園（岩崎）  
平成19年9月13日時点の着色



西海市北村農園（岩崎）  
平成19年9月15日時点の着色

皆さん、上の写真がいつとった写真だと思いますか？これは、極早生種（岩崎）の写真ですが、9月中旬に撮ったものです。この時点ですでに早いものは3分着の着色、平均すると1～2分着の着色でした。一般の岩崎はまだ、もえぎ色（ほのかに黄緑色）になるかならないか、くらの着色ですから、サンビオティック栽培の着色の早さが分かります。

これは、主に有機肥料「鈴成（すずなり）」のリン酸とカルシウムがきちんと効いた成果です。菌力アップを10日に一回灌水することにより、発根が促進され、土壌改善が進み、鈴成のリン酸・カルシウムがさらに効きやすくなります。そのため、生育が一般の栽培に比べて1週間～10日は早くなります。



左（無処理区）と右（サンビオ区）  
玉肥大が良く、糖度は1.8度の差があった



サンビオ区7月末の状況  
葉が大きく、玉の肥大がよい

サンビオティック栽培をすると、着色だけでなく、玉の肥大性も大変よくなります。本年は干ばつ傾向で雨が少ないですが、サンビオティック栽培のみかんは、おおむね一階級サイズが上がっていました。当然収量アップとなります。

本年の栽培状況をまとめると、みかんのサンビオティック栽培の特徴は、以下の通りです。

- ・ 隔年結果がかなり改善される
- ・ 糖度が1度前後上がる
- ・ 着色、酸切れ、生育ステージが1週間～10日早まる
- ・ 玉肥大が良く、収量アップ

まだ実施されていない方は、ぜひ、本年のお礼肥からサンビオティックを始めください。詳しくは、ご指導いたします。



● 茂木ピワの回復順調。力強い樹勢回復をサンビオティックで応援！



本年2月の状況  
葉がしおれ、収穫はやっと。

本年2月から  
サンビオティックで  
樹勢回復を応援！！



サンビオティックの  
栽培区は新梢が太い。



8ヶ月で勢いのある新梢が上がり、樹勢はここまで回復。

● 昨年の台風被害は、今もお傷跡を残していますが、弊社はサンビオティックで小川農園ほか数件を回復応援中！！  
● 一般には回復は5年程度かかると言われていますが、この調子で回復すれば2年で平常レベルまで戻りそうです。なんとか全国ブランドの茂木ピワを守って行きたいですね！！

● イチゴ、トマトの収量アップ、品質向上にサンビオ栽培を試してみませんか？

サンビオティックを皆さんの農業技術に取り入れてもらおうと、きっと大きな収穫を得られることと思います。具体的な施肥方法などは、弊社担当者へお問い合わせください。

(収量アップ、品質向上のための施肥基準)

施用方法	品目	使用量	商品特徴	主な用途
元肥または追肥	鈴成(すずなり)	10袋/反	リン酸・カルシウム	収量アップ、食味アップ
灌水(10日おき)	菌力アップ	5リットル/反	好気性微生物	発根促進、土壌改良
灌水(10日おき)	糖力アップ	5リットル/反	アミノ酸液肥	収量アップ、成疲れ防止

● ● ● 編集者より 巻末ご挨拶 ● ● ●

今年はずっと長い夏でしたが、急に朝晩の冷え込みも厳しくなってきました。いよいよ実りの秋ですね。忙しい季節になりますが、お体に十分注意して、豊かな実りが皆様にやってきますようお祈りいたしております。そしてサンビオティックが少しでもお役に立てれば嬉しいです。